



3月13日・3月23日24日 例会から

## 『 2024-25 年度 2820 地区 PETS 』

2024-25 年度第 2820 地区会長エレクト研修セミナー(PETS)高萩 RC をホストクラブに 開催される  
小谷松政紀会長 歓迎あいさつ

1970年高萩ロータークラブ創立以来  
初めての大イベント 3大セミナーを実施  
大高司郎ガバナー就任に向けての学習事業



いよいよ7月1日大高ガバナー年度を迎えるにあたり、地区内全55クラブの会長エレクトの皆様をお迎えし、会長エレクト研修セミナーを開催できますこと、心から感謝し歓迎申し上げます。

そして、大久保博之ガバナー、地区ラーニングファシリテーター大野治夫様をはじめとするパストガバナーの皆様のご出席を賜り、本セミナーが開催されますことに深く御礼申し上げます。

高萩ロータークラブは創立55年目にして、始めてガバナーを拝命いたしました。大変名誉なことと存じますとともに、小さなクラブでございますので、皆様のご期待に応えて、大高司郎ガバナーを支え、ホストクラブとしての責務を全うできるのか大変不安でした。しかし、第1分区の全クラブから激励とご支援を賜り、副幹事さんを派遣していただき、実行委員会を立ち上げ、準備を進めてまいりました。

不行き届きの件は多々あるかと存じますが、ローターの友情に免じてお許しいただきますようお願いいたします。2日間の研修が皆様にとって実り多いラーニングでありますようお願いいたします。

高萩ロータークラブは、創立53年を超えた。この間様々な活動を展開してきたが、3大セミナーは、初めての大イベントである。大高司郎会員が、ガバナーに指名され、国際協議会で



研修し、名実ともにガバナーエレクトとなり、主宰するのが3大イベントである。

上の写真は今回、大高エレクトが、国際ローターのテーマと優先事項、当地区大高年度の地区目標を提起している場面である。

3月3日開催の地区チーム研修セミナーは、大高エレクトが委嘱した、スタッフである地区委員の研修、ラーニング。

月 日	プログラム	担 当	3 月 23-24 日 出席報告		
			会員数	出席者	欠席者
3月27日	満足度アンケート調査	会長 幹事			
4月 3日	ガバナー年度に向けて	実行委員会	27	18	9
4月10日	PETS 報告	今川隆 次年度会長	出席率：100%		
4月14日	2820 地区研修・協議会	実行委員会	前々週訂正：100%		

事務所：〒318-0033 高萩市本町2-65  
常陽銀行高萩支店内

会 長：小谷松 政紀  
幹 事：平野 浩司

TEL/FAX：0293-24-0505

例 会：第1・2・3 水曜日 12:30～13:30

■URL：https://www.takahagirc.jp

公共イメージ向上委員会：小森勇一 石平光  
石君平 田所和雄、今川隆、菱川健司、滝徳宗

■E-Mail：takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

23日、24日と36時間にわたって実施した、会長エレクト研修セミナーは、各クラブが選出した、次年度クラブ会長に、地区方針について学習していただく、リーダー育成の重要な学習会である。

こうして、高萩ロータリークラブが主管して、地区行事が開催された。いわゆる、ホストクラブとして、イベントを開催することは、画期的であり、大変名誉なことである。

おかげさまで概ね、成功裏に実施することができ、実行委員会として、一安心の次第。



ホテル テラススクエアのテラスボールルームの本会議場

## 予定通り進行されたプログラム

### 秋山順弘会員機器編集・操作を担当

第1日の10:30分点鐘開会から、第2日11:57分閉会点鐘と、予定通り進行し、しかも、パワーポイントのスライド資料も内容は充実し、発表者との調整がスムーズに管理された。この点については、編集作業とパソコンの操作を担当した秋山順弘会員の技量と貢献が大きかった。

### 司会は和田昌也会員



左写真 2日間の司会進行を、新人の和田昌也会員にお願いした。20数年前の結婚露宴の司会以来のことであったが、落ち着いた雰囲気、聞きやすく、成功であった。

自信がないというので、事前に、今川隆会長エレクトと、何度も、リハーサルを重ね堂々たる司会進行であった。3月3日と4月14日は、滝徳宗会員が担当する。

小規模クラブではあるが、若手人材が育っていることを証明することとなった。

写真左側、着席は最年長の江尻寛当クラブのSAA委員長。発表者のタイム管理を担当していただいた。おかげさまで、プログラム執行が時間通りに実行できた。

## 地区役員の大役



左写真

大河原浩地区幹事が、ロータリー賞、次年度はクラブ優秀賞と変わります。

いかにして、その目標に到達するか、大河原幹事の説明。地区幹事は目立たない実務が山積、多忙を極めていますが、こうした表だけの仕事も大変である。

石君平 地区会計長



登壇する石君平 地区会計長。年々活動が活発になり、財政的なやりくりが大変になっている。

緊縮財政をどう実現し、予算の執行、管理を行っていくのか、会計長の重責である。これについて高萩ロータリークラブのバックアップは、難しい。

### 小森勇一 ロータリーの友代表委員

地区の役職として、ホストクラブが担当しているのに、「ロータリーの友」委員会、これは日本全国の機関だが、その地区代表委員がある。

第2820地区から1名、代表委員が派遣される。ホストクラブで担当しており、小森会員が、東京での委員会に参加している。

## 意欲を高めた懇親会

PETSは宿泊を伴う研修会で、第1日、17:20分から19:00まで懇親会が開催された。

当クラブとの交流のある、鈴木啓志高萩市文化協会会長を通して、民謡教室「法涛会」に祝い唄をお願いし、出演していただいたが、「磯節道場」の皆さんが13名出演、踊りを交え、3曲演奏していただいた。

磯節、磯原節等、格調高い唄と踊りで盛り上げてくれた。続いて、約 1 時間 10 分の宴席は、今川隆会長エレクトの司会進行で、盛り上がり、会長エレクトの皆さんの英気を養った。

短い時間であったが、コロナ禍の数年間を超え、近来にない盛り上がりを見せた。

各分区ガバナー補佐の皆さんの決意のひとつも、意欲を高める契機になった。

今川隆会長エレクトの司会進行も、要所を決め、ここでも当クラブの若手の力量を、地区全体に示すことができた。

## 第 2 日のプログラム

第 2 日のプログラムは第 2620 地区パストガバナー、甲府ロータリークラブ 高野孫左工門 様の講演。現在、ロータリーの友委員会委員長、一般社団法人ロータリーの友事務所代表理事の要職を担っておられる。

前日、甲府から電車由来市。実行委員会とクラブからは平野浩司幹事にお出迎えをお願いした。

講演は、変化し発展し続ける世界のロータリー、日本のロータリーの方向と課題をわかりやすく、的確に提起していただき、エレクトの皆さんも、学習を深め、やる気と見通しが明るくなった。最終プログラムは、各分区毎に集まり、今後の日程調整などを行い、正午には、全日程を終了した。

## 実行委員会の対応

今回のセミナーは、土曜日と日曜日 2 日間で、仕事を休まれて参加した会員もあり、大変な協力をいただいた。

実行委員会は、高橋事務局員を含め、クラブから 19 名。日立南 RC と日立北 RC から 13 名、ガバナーエレクト事務所から 2 名と、総勢 34 名で取り組んだ。

3 大セミナーは、4 月 14 日、地区研修協議会を行うが、順調に所期の目的を達成していると安堵しているところである。

## 3月13日例会

会員数 27 名 出席 17 欠席 10

### 【幹事報告】

1. 春の交通安全運動キャンペーン開催について
2. PETS の持ち物について
3. 米山奨学会 2024 学年度業務委託・覚書締結の件
4. いわき勿来 RC から会報
5. オクトンカタログ

### 【ニコニコ BOX】

大高司郎さん：ゴジラの米アカデミー賞を祝して。

石君平さん：三大セミナーも中盤、頑張ってくださいませ。

小森勇一さん：いよいよ、PETS です。よろしくお願ひいたします。

鈴木直登：二男のポンたが本を出版しました。妻と共著です。いざという時どうするの？よく書けています。

大平敏明さん：年金受給の案内が届きました。経験をした皆さんはどのような気持ちでしたか？

秋山順弘さん：梅の花の香る季節となりました。気ぜわしい中もなごむ一時を持っていきたく思います。

小谷松政紀さん、平野浩司さん、江尻寛さん、鈴木国男さん、田所和雄さん、今川隆さん、滝徳宗さん、菱川健司さん、滝義昭さん

本日計 10,000 円

累計 543,000 円

### 【ロータリー財団】

本日計 136,770 円

(1 月追加分)

累計 489,970 円

### 【ポリオプラス】

本日計 4,230 円

(1 月追加分)

累計 80,860 円

### 【米山記念奨学会】

本日計 0 円

累計 376,000 円

### 【メイクアップ】

3 月 9 日 財団地区補助金管理セミナー

大高司郎さん、石君平さん

大河原浩さん、秋山順弘さん

3 月 21 日 ロータリーの友委員会・全体会議

オリエンテーション

小森勇一さん